

函館西部地区バル街の「グッドデザイン賞」「ベスト 100」

および「グッドデザイン特別賞（地域づくり）」受賞について

各位

このたび、「函館西部地区バル街」（主催：函館西部地区バル街実行委員会）が今年度「グッドデザイン賞」および「グッドデザイン・ベスト 100」を受賞いたしました。

グッドデザイン賞 公式ウェブページ

<http://www.g-mark.org/>



函館西部地区バル街は、函館市民・函館近郊、そして道内・道外の広い地域の皆さんに愛され、開始から今年で 14 年間 28 回の開催を数えました。2004 年の「スペイン料理フォーラム」の前夜祭として企画された「西部地区で一晩のバル街を」が、参加した方たちからの絶賛と再開催の要望によって年 2 回開催が定着し今日まで継続してきました。皆で飲食を楽しみ、歩いて街を感じる。このシンプルな仕組みを、参加者・参加店そして運営に携わる実行委員会の私たちが、共にこの日を楽しみ、皆で育ててきたのではないかと思います。

また、全国メディアでの紹介などをきっかけに、2008 年頃から問い合わせや視察が急増。これらを積極的に受け入れてアドバイス等をおこなった結果、全国各地に「バル街」イベントが数多く誕生しました。運営手法はオープンソースであり、フランチャイズ化や当方からの費用要求等は一切行っていません。このシンプルさも継続の一因になっているように思います。

以下に具体的な内容を記しますが、何はともあれ、これまでバル街にご参加の皆さん、参加店の皆さん、後援・協力していただいている函館市やスペイン大使館、各団体の皆さん、そして全国のバル街・バルイベントの運営に関わる皆さんに感謝申し上げます。

2017 年 10 月 4 日

函館西部地区バル街実行委員会

代表 深谷宏治

*上記についての受賞式が 11 月 1 日にあり、その場で「函館西部地区バル街」が「地域づくり」の特別賞にも選ばれたことが発表されました。併せて報告とお礼を申し上げます。



2017 年 11 月 5 日 函館西部地区バル街実行委員会

〈グッドデザイン賞について〉

- グッドデザイン賞は、公益財団法人日本デザイン振興会が運営する顕彰制度。
- 1957年、通商産業省（現経済産業省）が創設した「グッドデザイン商品選定制度（通称Gマーク制度）」からの流れを組むものです。
- 例年、応募総数約 4,000 件に対して受賞数は約 1,200 件、60 年間で約 44,000 件が受賞。
- 今回、公立はこだて未来大学教授で、同賞審査員を務める岡本誠氏からの審査員推薦（第一次審査免除）をいただき、函館西部地区バル街実行委員会が応募し、今回の受賞に至りました。
- なお「グッドデザイン・ベスト 100」受賞は、渡島・檜山管内での受賞は初めてです。そして、11月1日受賞の「グッドデザイン特別賞（地域づくり）」は北海道で初めての受賞であります。

（11月5日一部追記）

〈今回の受賞について……応募調書からの抜粋〉

- 応募のカテゴリー** 地域・コミュニティづくり／社会貢献活動
- プロデューサー** 函館西部地区バル街実行委員会 代表 深谷宏治
- ディレクター** 函館西部地区バル街実行委員会 加納諄治、田村昌弘
- デザイナー** 函館西部地区バル街実行委員会 代表 深谷宏治

■函館西部地区バル街の概要

函館西部地区バル街は、函館市の旧市街地（西部地区）で春・秋の年 2 回、一日限りで開催している飲み食べ歩きイベントです。参加者は事前にバル街チケット（5 枚綴り）を購入し、チケット付属のマップに記された約 70 店の参加店を自由に巡り、ドリンクと「ピンチョー」と呼ばれる軽いおつまみ料理を立ち飲みや相席で楽しめます。古い街並みも残される旧市街地に、一夜限りの楽しみを求めて 4,000 人を超える人々が集います。函館市民の間で定着し今年で 14 年目、28 回の開催を数えます。今日、全国各地で開催されるバル街イベントは、函館がその発祥の地といえます。

■注目すべき点

- ・近年、多くの函館市民にとって、教会群や赤レンガ倉庫などで知られる旧市街地、西部地区は「観光客や観光業者のための場所」と認識されていたが、バル街への参加を通して、市民が改めてこの地区に立ち寄る機会となった。
- ・参加店のほとんどが西部地区内の既存店舗であることから、普段どおりの店を使い、イベントのためのテント設営などは要さない「あるもの活かし」といえる。
- ・事業の仕組みを極力シンプルにすることで、ボランティアな事務局運営を可能にしている。
- ・広告出稿を抑えるなど運営経費を極小にすることで、参加店側への代金還元を大きくでき、結果的に参加者の満足度が高まりリピート参加に繋がっている。

- ・チケットの使用率は毎回 99%を超えるほど高い。
- ・自由闊達な運営を継続したいという観点から、行政の補助金や大手企業・団体の助成金などに頼らない運営をポリシーとしている。

■函館西部地区バル街受賞ページ

<http://www.g-mark.org/award/describe/46066>

■グッドデザイン受賞概要 について

<https://www.g-mark.org/activity/2017/results.html>

〈受賞発表後のイベントと今後の予定について〉

- 10月4日 「グッドデザイン賞」「グッドデザイン・ベスト 100」受賞発表
- 11月1日 グッドデザイン賞受賞祝賀会（東京） 深谷代表ほか出席
- 同日 「グッドデザイン特別賞（地域づくり）」受賞
- 11月1日～5日 受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」（東京）
- 11月2日 受賞展において、深谷が登壇しプレゼンテーション
- 12月7日 特別賞贈賞式
- 2018年3月 受賞年鑑発行

〈函館西部地区バル街のこれまでの受賞歴〉

- 2006年 「がんばる商店街 77 選」（中小企業庁）に選出
- 2013年 バル街ポスターが「函館デザインアワード」（函館デザイン協議会）受賞

★本件に関するお問い合わせは

- ・函館西部地区バル街実行委員会 代表 深谷宏治（レストランバスク 0138-56-1570）
- ・または同委員会 事務局長 加納諄治（080-6088-3945 kanoh@ms6.ncv.ne.jp）
- ・ // 事務局 田村昌弘（090-7516-4171 m_tamura@fk9.so-net.ne.jp）